

宮城県古川黎明中学校・高等学校
進路指導部 文責 山田 直人

出願の秋！実りある受験を迎えるために

●本格化する大学入試

高校生活の集大成である各種受験がいよいよ本格的な「出願の秋」を迎えます。10月は、総合型選抜（AO入試）や学校推薦型選抜（指定校推薦・公募推薦）の出願・試験が集中する重要な時期です。特に高校3年生は、受験校決定、出願書類の作成、面接・小論文対策など、やるべきことが山積しています。保護者の皆様におかれましては、お子さんの精神的なサポートが何より大切になります。受験に関する情報収集や出願スケジュールの管理など、精神的な負担を軽減できるよう、ご家庭でのご協力をお願いいたします。

【高3向け】10月に確認・実行すべき重要事項

- 出願スケジュールと必要書類の最終確認
推薦・総合型選抜の出願が始まります。受験者本人が志望大学の募集要項を再度熟読し、提出期限、必要書類（調査書、推薦書、志望理由書など）、提出方法をチェックしてください。特に指定校推薦は、校内選考を経て内定が出たら、辞退はできません。必ずご家庭で進学についての意思を確認してください。
- 共通テスト出願締切
R8共通テストの出願手続きの締切は10月3日（金）です。『WEBへの入力』及び『受験料の納付』の両方を行うことで出願が完了となります。入力ミスや期限遅れなどがないよう、細心の注意を払ってください。次年度以降も共通テストはWEB出願となります。高1・高2・中学生のみなさんもこの時期に出願手続きを行うことと頭に入れておいてください。
- 学校が発行する書類（調査書・推薦書等）の申請
受験先に提出する調査書や推薦書等の発行は、申請が必要です。すぐには発行できない書類もあります。出願締切日から逆算し、余裕をもって申請するようにしてください。

【高1・高2・中学生向け】今から取り組む「進路準備」

- 前期期末考査・模試の振り返り
進路実現に向けた準備を具体的に進めていく時期です。前期期末考査やこれまで受験した模試において、できなかった部分を確認し、ヌケ&モレを補強しましょう。間違った部分をメモしていつでも解けるようにしておくことで、自分専用のヌケ&モレ問題集を作成することができます。コツコツが勝つコツですよ。
- 受験時に使用する調査書への意識
大学入試や各種受験では、高1・高2の成績も調査書に記載され、評価の対象となります。日々の授業を大切に、課題等は期限を守って提出し、定期考査で納得のいく成績が収められるよう努力しましょう。
- オープンキャンパス・学校説明会
秋にオープンキャンパスを実施する大学・学校も少なくありません。オンラインで説明を聞くのもよいですが、実際にその場所に行き雰囲気を感じることによって進路意識が向上することが多くあります。対面形式のイベントに積極的に参加し、学びたいことや将来のイメージを具体化しましょう。「なぜその大学・学校でなければならないのか」を明確にすることは、学習に対するモチベーションの向上に直結します。

【本校教員によるR7共テ分析④】

★情報Ⅰ

共通テストの問題はToshin.comからの閲覧が便利ですよ▶



分析・講評				今後（次年度）に向けての対策	本校生徒へのメッセージ
大問1	大問2	大問3	大問4		
問1：今回のテストの中で唯一知識を要する問題であった。 問2：一見難しそうに見えるが、実際には組み合わせを数えるだけである。文章をしっかり読めば解ける。 問3：問2と同様に文章をしっかり理解し、書いてある通りに検算をすれば答えを導ける。 問4：ディスプレイ上の表示に関する問題である。実際にディスプレイを想像しながら考えれば問題なく解ける。	A：レシートから必要な情報を読み取ることや商品や情報の流れを読み取る問題である。こちらも必要な知識はさほどなく、文章を読み条件にあてはまるものを選べば特に問題はない。 B：会計時の集金係に関する問題である（大人の食事会等よくある場面である）。1000円の必要枚数をシミュレーションしている。状況把握ができれば簡単に答えが出る。	前半は場面設定の確認をするための問題、中盤から後半にかけてはプログラムの問題になっている。場面設定や条件とプログラムを紐付けて考えるのが少し難しいところである。プログラムの文法は「配列」「繰り返し文（Pythonのfor文）」「選択構造（Pythonのif文）」が必要であったが、授業で演習をしているレベルとかけはなれてはいない。	表やグラフを正しく読み取る力が試されている問題である。知識を要するものではないので、情報をしっかり把握し、適切なものを選択できるようにする必要がある。表やグラフが多いので、日頃から読み取りの力もつけていかないとイケない。⇒情報処理能力	今回が初であったので今後の対策がまだ難しかったところはあるが、今後も知識を要する問題よりも、文章を読み取る力が試される問題がメインになるのではないかと考える。「コンピュータとプログラミング」「データの活用」が問題の比率としてかなり大きいので、ここができるかどうかで点数が伸びるかどうかが変わってくる。	文章を読み取る力が試される問題がメインと今後に向けての対策で書いた。ということは限られた時間内に何が鍵となってきます。最初は時間よりも正しく情報を読み取れるように練習を積んで、慣れたきたら短時間で情報処理ができるように演習を積んでください。また、プログラミングに関しては、授業で学習した文法がわかっていれば概ね解くことができます。今後プログラムの問題を解く上でわからないものは授業でも紹介した「PyPEN（共通テスト言語のプログラムを実行できるサイト）」を使うといいと思います。

各大学の最新の入試情報は『河合塾 Kei-Net』での確認が便利です。右の二次元コードよりご覧頂けます。大学ごとに入試の種類も多岐にわたります。小まめな確認をお願いします。

